

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	霧島市 46218
地域名 (地域内農業集落名)	牧園A地区 (持松・高千穂)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	117.4 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	100.27 h a
② 田の面積	42.7 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	38.66 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

霧島川水系に属する炭床地区は基盤整備完了地区であり、今後は、地域計画の策定に合わせた農地の有効活用や農地保全に努めていく。市後柄、黒岩地区は畜産が主体の地域であることから、今後も地域の営農形態に沿った利用を進める。下中津川・持松に広がる稼原台地は営農条件に恵まれた団地であり、地域に適した農業生産性の高い団地形成に努める。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

多数を占める畜産、露地・施設野菜の経営体の営農規模拡大を進め、共生する地域農業を目指す。
現在の営農形態を継続するが、高齢化により離農する経営体も増えるとみられ、可能な限り農地中間管理機構を通じた農地の提供を進め、耕作放棄地が増えないよう認定農家などの主な担い手に農地を集約していく。域外からの入り作や新規就農者の受け皿として、利用条件の良い農地は作業受託なども活用しながら、確実に次の世代につないでいく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
集落内耕作者、集落外耕作者と土地持ち非農家がお互いに協力し、地域農業が守りつつ、さらなる集約化を目指すよう努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	47	%	将来の目標とする集積率
			57 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積の拡大を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心とした集約化を関係機関・団体とともに連携し、進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
広域的でより実効性の高い農地利用調整を、農地中間管理機構を通じた農地の賃貸借契約を積極的に図っていく。
(3) 基盤整備事業への取組
利用条件の良くない農地も多数存在するが、今後は担い手の数も減少すると見られるため、柔軟に検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
県、JAをはじめとした関係機関・団体と連携し、相談から定着まで支援を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
今のところ取組予定はない。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）									
☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等					
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他					
【選択した上記の取組内容】									
・ 鳥獣被害防止のため、電気柵等の設置を進め、猟友会等との協力体制を強化する。									
・ 作物の高付加価値化を進めるため、有機農業や減農薬等の取り組みを進める。									
・ 担い手がカバーしきれない農地については保全等を進める農地としての利用も検討しつつ、条件の良い農地は確実に次の世代に引き継げるよう管理していく。									
・ 飼料作物（WCS）を地域の畜産農家に供給し、家畜排せつ由来堆肥は、耕種農家に供給する。									

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
別紙のとおり			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・％）	
-------------	--	---------------	--

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

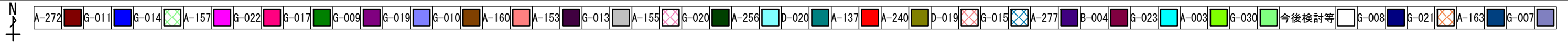
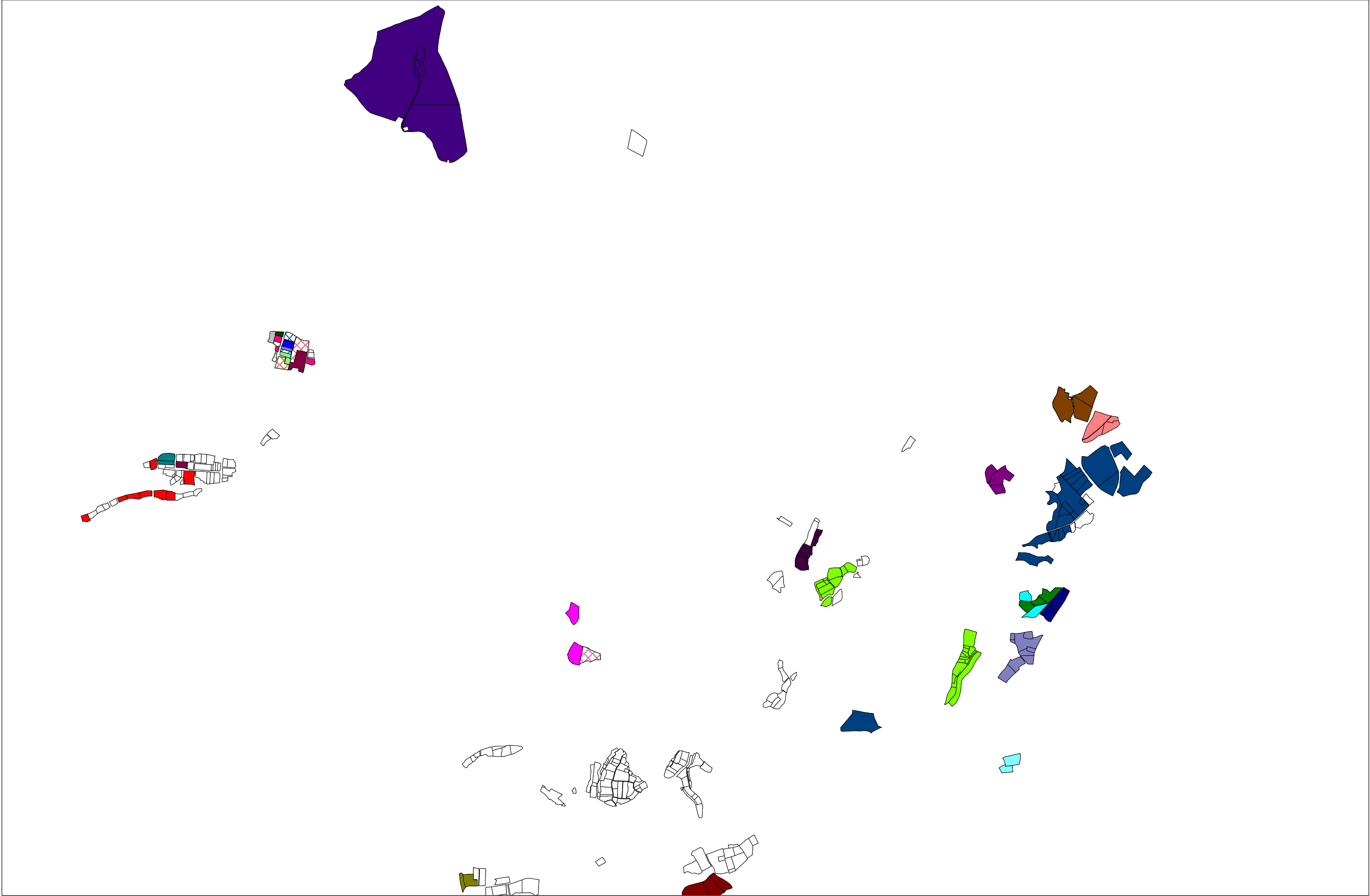
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

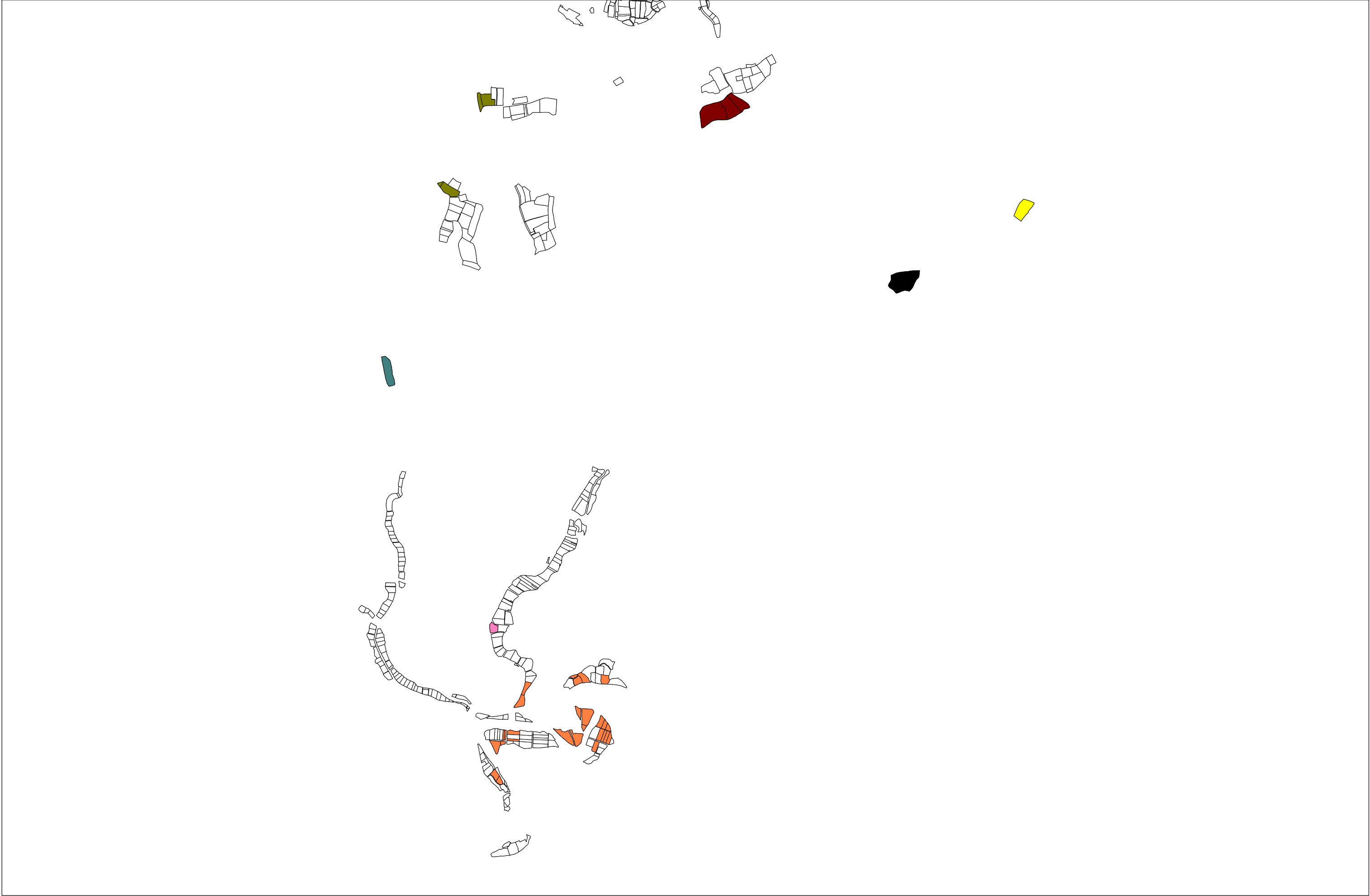
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	到達	D-019	露地野菜 + 水稲 + 肉用牛	0.56 ha	ha	露地野菜 + 水稲 + 肉用牛	0.56 ha	ha	D-019	
2	認農	A-137	水稲	1.47 ha	ha	水稲	1.47 ha	ha	A-137	
3	認農	A-003	養豚	2.45 ha	ha	養豚	4.13 ha	ha	A-003	
4	認農	A-151	肉用牛 + 水稲 + 甘藷	0.55 ha	ha	肉用牛 + 水稲 + 甘藷	0.55 ha	ha	A-151	
5	認農	A-152	肉用牛 + 水稲	3.51 ha	ha	肉用牛 + 水稲	3.51 ha	ha	A-152	
6	認農	A-153	施設野菜 + 椎茸	0.63 ha	ha	施設野菜 + 椎茸	1.01 ha	ha	A-153	
7	認農	A-155	茶	0.54 ha	ha	茶	0.54 ha	ha	A-155	
8	認農	A-157	茶	1.02 ha	ha	茶	1.02 ha	ha	A-157	
9	認農	A-158	茶	1.2 ha	ha	茶	1.2 ha	ha	A-158	
10	認農	A-160	肉用牛	1.53 ha	ha	肉用牛	1.53 ha	ha	A-160	
11	認就	B-004	施設 + 露地野菜	0.76 ha	ha	施設 + 露地野菜	0.76 ha	ha	B-004	
12	認農	A-272	露地野菜	2.14 ha	ha	露地野菜	2.14 ha	ha	A-272	
13	認農	A-163	酪農	12.13 ha	ha	酪農	12.13 ha	ha	A-163	
14	認農	A-170	肉用牛 + 稲作	0.18 ha	ha	肉用牛 + 稲作	0.18 ha	ha	A-170	
15	認農	A-171	茶	0.57 ha	ha	茶	0.57 ha	ha	A-171	
16	認農	A-277	露地野菜	24.32 ha	ha	露地野菜	24.32 ha	ha	A-277	
17	認農	A-240	茶	0.9 ha	ha	茶	0.9 ha	ha	A-240	
18	認農	A-256	茶	0.6 ha	ha	茶	0.6 ha	ha	A-256	
19	利用者	G-011	水稲	0.19 ha	ha	水稲	0.19 ha	ha	G-011	
20	利用者	G-013	水稲	0.15 ha	ha	水稲	0.15 ha	ha	G-013	
21	利用者	G-014	水稲	0.14 ha	ha	水稲	0.14 ha	ha	G-014	
22	利用者	G-015	水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.27 ha	ha	G-015	
23	利用者	G-017	水稲 + 露地野菜	0.89 ha	ha	水稲 + 露地野菜	0.89 ha	ha	G-017	
24	利用者	G-009	露地野菜	1.22 ha	ha	露地野菜	1.22 ha	ha	G-009	
25	利用者	G-010	露地野菜	2.59 ha	ha	露地野菜	2.59 ha	ha	G-010	
26	利用者	G-019	水稲	0.08 ha	ha	水稲	0.08 ha	ha	G-019	
27	利用者	G-007	露地野菜	2.21 ha	ha	露地野菜	2.21 ha	ha	G-007	
28	到達	G-003	茶	0.44 ha	ha	茶	0.44 ha	ha	G-003	
29	利用者	G-020	露地野菜	0.08 ha	ha	露地野菜	0.08 ha	ha	G-020	
30	利用者	G-008	露地野菜	0.95 ha	ha	露地野菜	0.95 ha	ha	G-008	
31	利用者	G-021	露地野菜	0.3 ha	ha	露地野菜	0.3 ha	ha	G-021	
32	利用者	G-022	水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.27 ha	ha	G-022	
33	利用者	G-023	水稲 + 露地野菜	0.62 ha	ha	水稲 + 露地野菜	0.62 ha	ha	G-023	
34	利用者	G-030	水稲 + 露地野菜	0.18 ha	ha	水稲 + 露地野菜	0.18 ha	ha	G-030	
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40	計	34経営体		65.64 ha	ha		67.7 ha	ha		





A-272	A-171	A-170	A-151	A-240	A-158	A-152	今後検討等	
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--